

の位置の標定, および, 分布の測定また速度分布の測定を行う装置を製作することができる。本年度は, この原理に基づき, 小さい対象物について, よこ方向10 μ m 奥行方向100 μ mの分解能でその分布を測定可能な装置を試作した。また, この原理を応用した速度分布の測定を行った。

7. 結 び

以上のように, 本事業の初年度として, この目的にそつためのいくつかの形態の装置を提案し, 実験室スケールの装置を製作し, 順調な成果を得ている。次年度以降は, 実用的な見地から受光望遠鏡を見えた同調可能光ヘテロダイン系を製作する。(1975年1月22日受理)

文 献

- 1) 藤井「光ヘテロダインの量子論的取扱い」
電気通信学会, 光量子エレクトロニクス研究会
OQE74-63 1974-12.
- 2) 斎藤・四方・藤井「可変周波数炭酸ガスレーザーを用いた光ヘテロダイン検波器の特性」
昭和50年 電気学会全国大会

- 3) 斎藤・藤井・滝本・大林
「同調可能色素レーザーを用いたレーザー電磁回路アナライザ」
昭和49年 電気通信学会全国大会
- 4) 藤井・滝本・正村
「同調可能色素レーザーによる吸光分析とその測定誤差」
昭和50年 電気学会全国大会
- 5) 藤井 林「PbMoO₄結晶を用いた音響光学フィルタ」
応物学会 S.49. 10 9aF 6
- 6) 藤井:「光ヘテロダインとショット雑音の量子論」
昭和50年 電気学会全国大会
- 7) 藤井・林:「PbMoO₄結晶を用いた音響光学フィルタ(II)」
応物学会 74年 春
- 8) 滝本・藤井
「An Optical Heterodyne Radar System for Position and Uelocity Detection」1974 Laser Radar Conf.
Sept. 3 1974 II-7
- 9) 滝本・藤井「光ヘテロダイン検波を用いた結像特性の解析」
電子通信会 光量子エレ研究会 OQE 74-19-27
- 10) 滝本・藤井「球面波光ヘテロダイン法による速度分析の測定」
昭和50年 電気学会全国大会
- 11) 滝本・藤井「光ヘテロダイン検波を用いた画像検出」(実験)
昭和50年 電気学会全国大会

正誤表 (2月号)

頁	段	行	種 別	正	誤
8	右	↓ 4	本 文	位置: 東経138° 48' ±1'	位置: 東経138° 48' ±1'
8	右	↑ 8	"	震央距離57kmの.....	震中距離57kmの.....
20	右	↓ 1	"	では図18の様に.....	では図17の様に.....
30	左	↓ 5	"	$\sum_{l=1}^k$	$\sum_{l=1}^K$
30	左	↓ 7	"	$C(Q_h)$	$C(Q_h)$
30	左	↓ 14	"	P by repla-	P repla-
31	左	↓ 19	"	have a unique	have unique
50	右	↓ 5	"	述べた手法で得た一自由度系の.....	求べた手法で得た一自由度系の.....
49	左	↓ 12	"	$P(\gamma) = P_0 R_e \left\{ e^{i(\frac{\pi r^2}{q} + 2\pi r \frac{f_0}{f-f_0} + \sigma)} \right\}$	$P(r) = P_0 R_e \left\{ e^{i(\frac{\pi r^2}{q} + 2\pi r \frac{f_0}{f-f_0} + \sigma)} \right\}$
50	左	↓ 5	"	$R(r) = \frac{\sqrt{\pi}}{2} \frac{1}{\sqrt{1-\xi^2}} \frac{f}{f-f_0}$	$R(r) = \frac{\sqrt{\pi} 1}{2\sqrt{1-\xi^2}} \frac{f}{f-f_0}$
50	左	↓ 19	"	に近づくこと.....	に近づくこと.....